

## 2021年度 第367回教育研究審議会議事要録

**日時** 2021年11月2日(火) 13:30~15:00  
**場所** 遠隔会議 (Teams利用)  
**出席者** 松尾学長、柳井副学長、龍副学長、二宮副学長、中尾副学長、中本事務局長  
伊藤外国語学部長、浦野経済学部長、田島文学部長、田村法学部長、内田地域創生学群長、  
上江洲国際環境工学部長、廣渡基盤教育センター長、重松法学研究科長、  
八百社会システム研究科長、工藤マネジメント研究科長、下野学生部長、後藤教務部長、  
狭間入試広報センター長、浅羽情報総合センター長、中武環境技術研究所長

**配布資料**

- 1-1 教員採用選考報告書 (文学部)
- 1-2 欠員補充申請書 (国際教育交流センター)
- 1-3 退職願 (基盤教育センター)
- 2 アセスメントプランに係る点検・評価について
- 3 2022年度開講 新領域「社会人のためのデータサイエンス基礎」について
- 4 2022年度メディア授業科目審査結果について (報告)
- 5 2022年度サバティカル取得資格者の選考結果について
- 6 大学院進学希望者に対する学部推薦制度の延長について
- 7 地域共生教育センターと公益財団法人日本財団学生ボランティアセンター(通称: Gakuvo)との協定締結について
- 8 新型コロナワクチンに関するアンケート

### 第1号 教員の人事について

\* 資料1-1のとおり、文学部比較文化学科のイギリス文学・文化担当教員人事について、選考委員会から採用候補者(濱菜々恵氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

\* 資料1-2のとおり、国際教育交流センターからの申請に基づき、2022年3月31日付で退職する印道緑教授の後任として、言語学(日本語教育)担当教員1名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

\* 資料1-3のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、葛西宏信教授の2022年3月31日付での退職について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)

### 第2号 アセスメントプランに係る点検・評価について

\* 資料2のとおり、アセスメントプランに係る点検・評価結果と今後の対応方針について提案。

- 補足だが、CP-aの「課題等の適切性」について、事前事後学修時間を評価の指標としているが、このデータのみでは課題の適切性を直接判断することができない。そのため、今後、授業評価アン

ケートで「課題等の適切性」に関する質問項目を追加することを検討している。

- CP-dの「休学率・退学率」について、本学では、退学を回避するため、退学希望者に対して一旦休学することを勧めている実態があり、それが「退学率が低く休学率が高い」という結果に繋がっている。この点について、今後議論する必要があるだろう。
- CP-fの「成績評価分布」について、成績評価分布の適切性を検証するにあたり、部局間で温度差があるように感じた。成績評価が適切か否か、各部局で改めて検討いただきたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

### 第3号 i-Designコミュニティカレッジ新領域の追加および規程改正について

※ 資料3のとおり、i-Design コミュニティカレッジ新領域の追加および規程改正について提案。

- enPiT-everi事業の文部科学省補助事業期間の終了に伴い、enPiT-everi事業のコンテンツの一部を利用して、2022年度から新領域「社会人のためのデータサイエンス基礎」を開講するもの。また、本領域では働く現役世代を対象としていることから、i-Design科目に、原則オンデマンドで開講する「社会人専用科目」を新たに設ける。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

### 報告

- ① 2022年度メディア授業科目の審査結果について
- ② 2022年度サバティカル取得資格者の選考結果について
- ③ 大学院進学希望者に対する学部推薦制度の期間延長について
- ④ 地域共生教育センターと公益財団法人日本財団学生ボランティアセンター（通称：Gakuvo）との協定締結について
- ⑤ 第53回緊急対策本部会議の報告について（口頭）